

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 20 年 5 月 15 日 (2008.5.15)

【公開番号】特開 2006-279852 (P2006-279852A)  
 【公開日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-040  
 【出願番号】特願 2005-99543 (P2005-99543)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 L 12/44 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 2 3 0 Z

H 0 4 L 12/44 3 0 0

H 0 4 N 7/173 6 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 3 月 31 日 (2008.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データサーバからターミナルへのアイソクロナスデータの同期伝送のために送信タイミングを指定するパケットを一定の時間間隔でデータサーバに送信する同期制御サーバと、前記アイソクロナスデータを中継する複数の中継機器を有する伝送システムであって、

前記中継機器は、

前記アイソクロナスデータのパケットを一時的に格納するバッファと、

他の中継機器に対して一定時間の間に複数のデータサーバからのパケットを送信する場合は、前記バッファに格納されている前記複数のデータサーバからのパケットを連続してまとめて送信する送信手段と、

を有することを特徴とする伝送システム。

【請求項 2】

前記同期制御サーバは、カウンタ値により前記送信タイミングを指定することを特徴とする請求項 1 に記載の伝送システム。

【請求項 3】

前記中継機器は、前記同期制御サーバから前記データサーバに送信される前記送信タイミングを指定するためのパケットを中継する場合は、当該中継機器での中継に要する時間を前記カウンタ値に反映させることを特徴とする請求項 2 に記載の伝送システム。

【請求項 4】

前記データサーバは、前記カウンタ値をカウントし終えた時点で前記アイソクロナスデータを前記ターミナルに伝送することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の伝送システム。

【請求項 5】

データサーバからターミナルへのアイソクロナスデータの同期伝送のために送信タイミングを指定するパケットを一定の時間間隔でデータサーバに送信する同期制御サーバと、前記アイソクロナスデータを中継する複数の中継機器を有する伝送システムにおける制御

方法であって、

前記中継機器は、

他の中継機器に対して一定時間の間に複数のデータサーバからのパケットを送信する場合は、アイソクロナスデータのパケットを一時的に格納するバッファに格納されている前記複数のデータサーバからのパケットを連続してまとめて送信することを特徴とする制御方法。

【請求項 6】

データサーバからターミナルへのアイソクロナスデータの同期伝送のために送信タイミングを指定するパケットを一定の時間間隔でデータサーバに送信する同期制御サーバと、前記アイソクロナスデータを中継する複数の中継機器を有する伝送システムの前記中継機器であって、

アイソクロナスデータのパケットを一時的に格納するバッファと、

他の中継機器に対して一定時間の間に複数のデータサーバからのパケットを送信する場合は、前記バッファに格納されている前記複数のデータサーバからのパケットを連続してまとめて送信する送信手段と、

を有することを特徴とする中継機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】伝送システム、中継機器及び制御方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、伝送システム、中継機器及び制御方法に関し、特にアイソクロナスデータを伝送する場合の伝送制御技術に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、このような背景の下になされたもので、アイソクロナスデータを効率よく伝送することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的を達成するため、本発明は、データサーバからターミナルへのアイソクロナスデータの同期伝送のために送信タイミングを指定するパケットを一定の時間間隔でデータサーバに送信する同期制御サーバと、前記アイソクロナスデータを中継する複数の中継機器を有する伝送システムであって、前記中継機器は、前記アイソクロナスデータのパケットを一時的に格納するバッファと、

他の中継機器に対して一定時間の間に複数のデータサーバからのパケットを送信する場合

は、前記バッファに格納されている前記複数のデータサーバからのパケットを連続してまとめて送信する送信手段と、 を有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

本発明によれば、アイソクロナスデータを効率よく伝送することができる。